

| 開館カレンダー | 休館日

- 「池波正太郎展一人間通のまなざし」
- 「アニメ監督×万博プロデューサー 河森正治展」
- 「あなたが知らないシンデレラ展」(仮称)
- 「没後40年 源氏鶏太展」(仮称)
- 「第2回 しあわせを伝えよう! 絵てがみ展」
- 「かいけつゾロリ大冒険展」

2025						
4						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			
5						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
6						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					
7						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
8						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
9						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 5 6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				
10						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
11						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						
12						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
2026						
1						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
2						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 6 7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					
3						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 6 7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

| 利用案内 |

- 開館時間 展示部門……午前9時30分から午後6時まで
(観覧受付は午後5時30分まで)
研修室・和室…午前9時30分から午後9時まで
- 休館日 火曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始

| 交通案内 |

- 富山駅南口(JR・あいの風とやま鉄道)から
市内電車(富山地方鉄道)「大学前」行または環状線乗車、「県庁前」下車、徒歩5分
徒歩 約15分
- 富山空港から タクシー約20分
- 北陸自動車道富山ICから 自動車約20分

| 駐車場 |

駐車場は南側に42台、東側に41台分あります。
駐車料金は、最初の1時間まで330円です。以後、30分毎に110円が加算されます。
ただし、文学館利用者については、3時間まで無料となります。館内で、駐車券の認証を受けてください。
(認証を受けない場合、無料の特受を受けることができません。)
※駐車可能台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22
TEL 076-431-5492 FAX 076-431-5490
<https://www.koshibun.jp/>



展覧会スケジュール 2025.4 ⇒ 2026.3

高志の国文学館

KOSHINOKUNI Museum of Literature



「池波正太郎展 一人間通のまなざし」

2025年3月29日(土)～6月9日(月)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、富山テレビ放送
特別協力：池波正太郎記念文庫、池波正太郎ふれあい館、株式会社オフィス池波

■観覧料 一般400円(320円) 大学生200円(160円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般320円

『鬼平犯科帳』『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』『真田太平記』などの人気シリーズを生み出した作家・池波正太郎(1923～1990)。ドラマ化・映画化・アニメ化によってファン層の裾野を広げたその作品は、没後35年を迎える現在も、多くの読者に読み継がれています。
東京浅草で生まれ育ち、劇作家として出発した池波の時代小説には、江戸の町を彷彿とさせるような情緒があり、登場人物たちが営む日々の暮らしの風景に、季節感漂う料理が彩りを添えています。また、善悪両面を併せ持つ、矛盾に満ちた「人間」という存在を深く見つめ、登場人物たちが織り成すドラマを描き出しているところに、色あせない魅力があります。

本展では、新しい時代小説の世界を切り開いた池波作品の魅力と創作の舞台裏について、貴重な原稿や創作資料、挿絵原画等により掘り下げます。あわせて、小説と並んで人気の高い、食、映画、旅などについて語ったエッセイや、晩年趣味とした絵画の世界、父方の先祖の出身地である越中井波の人々との交流など、作家の横顔についてもご紹介します。



| 観覧料 |

- 常設展 一般200円(団体160円)
※団体料金は20人以上の場合
※70歳以上の方の常設展の観覧は無料になります。
(年齢を証明できるものがが必要です。)
- 企画展 展覧会によって異なります。
企画展観覧券で常設展示もご覧いただけます。

次の方は常設展・企画展ともに無料でご覧いただけます。

1. 小・中・高校・特別支援学校の児童・生徒及びこれに準ずる方(大学生は常設展のみ無料)
 2. 各種障害者手帳をお持ちの方及び付添いの方(付添いは手帳をお持ちの方お一人につき1名まで)
- ※学校教育・社会教育活動として児童・生徒が観覧される場合、引率者の方も観覧料が無料になります。あらかじめ「観覧料免除申請書」に必要事項を記入のうえ、事前に当館まで提出ください(FAX可)。
観覧料免除申請書はホームページからダウンロードできます(PDF、Word)。
※都合により、記載内容を変更する場合があります。詳しくは高志の国文学館HPをご覧ください。

心にたっぷり、栄養補給!



館長 室井 滋

「アニメ監督×万博プロデューサー 河森正治展」

2025年6月21日(土)～9月1日(月)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、チューリップテレビ
特別協力：河森正治監督、株式会社Vector Vision

観覧料 一般500円(400円) 大学生250円(200円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般400円

富山が生んだ世界的クリエイターの軌跡

アニメーションの監督や演出、脚本、メカデザインと多岐にわたって活躍するビジョンクリエイター・河森正治(1965～)。大阪・関西万博では、テーマ事業プロデューサーを務めています。

本展では、代表作となる「マクロス」シリーズや「アクエリオン」シリーズのほか、河森正治が原作・監督を務めた作品のデザイン画、絵コンテ、設定資料など各種創作物を展示し、彼の作品世界をひもときます。さらに、富山の自然や環境を原点とする幼少期から現在にいたるまで、どのようなものにインスピレーションを受けて創作活動をつづけてきたのか、そのルーツをたどるとともに、「いのちを育む」をテーマとする2025年大阪・関西万博のパビリオンを紹介します。



河森正治
©Shoji Kawamori / KENTA AMINAKA



EXPO2025大阪・関西万博
シグネチャーパビリオン「いのちめぐる冒険」
THEME SYMBOL いのち球
©2024 Shoji Kawamori / Vector Vision

「あなたが知らないシンデレラ展」(仮称)

2025年9月13日(土)～11月24日(月・振替休日)

主催：高志の国文学館 共催：富山新聞社、富山テレビ放送 監修：川田雅直
特別協力：株式会社アトランスチャーチ、一般社団法人シンデレラ芸術文化振興会

観覧料 一般500円(400円) 大学生250円(200円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般400円

シンデレラがいじめられている時に 心のささえになったものは？

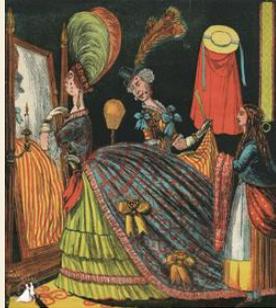
17世紀フランスのベルサイユ宮殿で語られていたシンデレラ物語には、12時の鐘、かばちやの馬車や魔法使い、ガラスの靴が出てきますが、世界には550を超える類話があり、実にたくさんのシンデレラ物語が存在します。

どんなにつらいことがあっても、やさしく、前向きで、一生懸命に努力を続け、幸せを手に入れたシンデレラ物語は、時代を超えて夢と希望を与え続け、今なお世界中で愛されています。

本展では、「あなたが知らないシンデレラ」の秘密をクイズを通して解き明かします。ギネス世界記録にも認定された1500点以上のシンデレラ・コレクションの中から、世界各国の絵本や絵画、再現したドレスやガラスの靴、未公開の作品などを通して、幸せのヒントをご紹介します。

クイズの答えは、次の3つのうちどれでしょう。

- ① チョコレート
 - ② 絵本
 - ③ ネコ
- さあ、企画展をお楽しみに!



1860年代 イギリスの絵本より

「没後40年 源氏鶏太展」(仮称)

2026年1月17日(土)～3月9日(月)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、北日本放送

観覧料 一般400円(320円) 大学生200円(160円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般320円

読めばわかる、おもしろさ。 室井滋の朗読でたどる源氏鶏太の魅力!

山内マリコによる『青空娘』の解説が人気を呼び、その後文庫の復刊が相次いだことで改めて評価されている作家、源氏鶏太(1912～1985)。富山市の「売薬さん」の家庭に生まれ、富山商業学校(現富山商業高等学校)卒業の昭和5年(1930)に住友合資会社に入社。高校在学中には詩作に熱中し、やがて文学青年だった兄の影響で小説を書き始めます。戦後は本格的に小説に取り組み、昭和26年(1951)には『英語屋さん』ほか2編で直木賞を受賞。映画化もされた『三等重役』で人気を博します。

昭和31年(1956)に退職するまで、26年間の会社員生活を送った源氏鶏太は、自らの体験を生かした「サラリーマン小説」という新しい分野を開拓し、その悲喜こもごもをユーモア小説に仕立て、数々のベストセラーを生み出しました。

本展では、明るくユーモアにあふれ、読者に夢と元気を届ける源氏鶏太の作品を、貴重な資料と室井滋の朗読でご紹介します。



源氏鶏太

「かいけつゾロリ大冒険展」

2026年3月28日(土)～6月8日(月)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、北日本放送
原作：原ゆたか 特別協力：ポプラ社
協力：バンダイナムコピクチャーズ/亜細亜堂/原京子 企画制作：東映

観覧料 一般400円(320円) 大学生200円(160円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般320円

富山にゾロリと仲間たちがやってくる。 見に来てくれよな!

いたずらの王者をめざすキツネの主人公ゾロリと仲間たちの大冒険を描いた『かいけつゾロリ』シリーズは、今年で出版38年目を迎えます。1987年の第1作『かいけつゾロリのドラゴンたいじ』以降、現在(2025年3月)、第75作まで出版されています。累計3500万部を超える児童書の人気シリーズで、アニメ化によって、その人気にさらに拍車がかかりました。

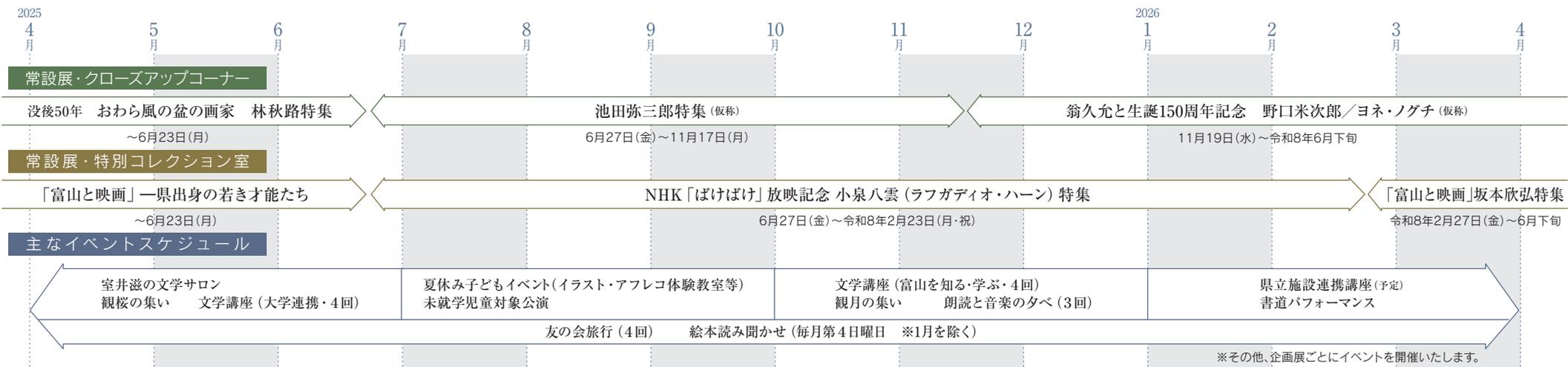
本展では、ゾロリと仲間たちの大冒険を振り返る貴重な原画作品や資料約200点に加え、ゾロリたちが集めた「お宝」を立体作品として紹介します。また原作者・原ゆたかのアトリエ再現や、作中の名場面を元にした撮影スポットなども登場します。

魅力たっぷりのゾロリワールドをお楽しみください。



©原ゆたか/ポプラ社

常設展・イベントスケジュール



「第2回 しあわせを伝えよう! 絵てがみ展」

2025年12月6日(土)～12月28日(日)

主催：高志の国文学館 観覧料 無料

「しあわせ」いっぱい絵てがみを展示!

「ウェルビーイング」をテーマに募集した「第1回しあわせを伝えよう!絵てがみ作品募集」では、全国から1,066点の絵てがみが届きました。第2回も、普通よりもちょっと大きなサイズの絵てがみを募集し、文学館で展示します。

皆様の「しあわせ」を絵てがみにして、ぜひ文学館へお寄せください。

※募集に関する詳細は、文学館のウェブサイト等でご案内します。



第1回募集 子どもの部 知事賞

第1回募集 一般の部 知事賞